

(1) 工事コストの低減

⑰建設副産物対策

砂防ソイルセメントを採用し、コスト縮減を図り、工期を短縮

九州地方整備局雲仙復興工事事務所 南千本木1号右岸袖部工事

【施策の概要】

従来、ダムにおいてはコンクリート構造での建設が主流であるが、これまで現地に存在する火山堆積物を有効に利用し、現地発生材にセメントを添加し混合した材料（砂防ソイルセメント用コンクリート）を用いることでコスト縮減を図ってきました。さらに砂防ソイルセメントコンクリートの製造過程において改良を加えることで更なる工期の短縮と品質の向上を図ります。

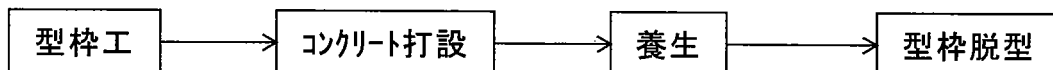
南千本木1号右岸袖部工事においてバッチャープラントでの製造等の製造過程の検討を行った結果、バックホウによる現地攪拌工法を採用することで工期短縮、品質向上、省人化に努めました。

【施策のポイント】

- ・ 現地発生材を有効利用した材料をダンプトラックで運搬し、ブルドーザで敷き均し、振動ローで締め固めることで材料費の縮減、行程での工期短縮、省人化を図れます。
- ・ 今回採用した現地攪拌工法による砂防ソイルセメントコンクリート製造は現場にて発生材とセメントをバックホウにより攪拌するので、バッチャープラント（工場）製作に比べコストを低減することができます。
- ・ 今後現地攪拌による砂防ソイルセメントコンクリート製造過程において他の機種による攪拌等での試験施工を行い更なる工期短縮、品質向上を図る必要があります。

【施策の実施状況・イメージ図】

(従来：コンクリート打設による施工)



(今回：砂防ソイルセメントによる施工)

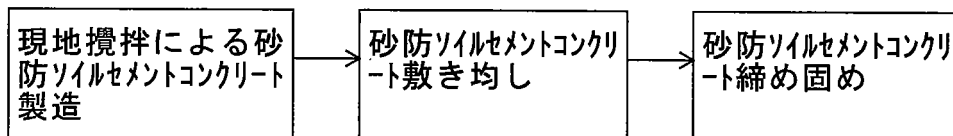


図-1 砂防ソイルセメント攪拌状況



図-2 砂防ソイルセメント締固状況

全国で平成12年度は12件で実施